

令和元年産 紀南のみかん産地情報

2019/07/30

1. 開花～着果状況

4月から開花期にかけて、気温は平年並みからやや高く推移し、満開日は早生で5月6日と、前年より7日程度遅く、平年より2日程度早くなった。

満開後の気温はほぼ平年並みになったものの、降雨量が少なく生理落果が多くなった。



7月23日の定点着果量調査(直径3cmの調査枝)では、極早生の着果は22.3果(前年比88%、平年比83%)と前年・平年よりやや少なく、早生は15.6果(前年比71%、平年比66%)と、前年・平年より少ない結果となった。

2. 果実の肥大・品質

7月20日時点の肥大は、各品種とも前年・平年並となっている。また品質については、酸度は前年・平年よりやや高く、糖度はやや低くなっている。

品目	1年産			30年産			平年		
	横径mm	酸度%	糖度%	横径mm	酸度%	糖度%	横径mm	酸度%	糖度%
日南1号	39.0	4.42	6.5	40.2	3.72	7.7	38.7	4.02	7.1
早生	35.4	4.44	6.5	36.2	4.02	7.5	35.6	4.14	7.1

3. 品質向上対策

現在、果実品質向上のため、摘果やマルチ被覆、フィガロン散布を啓発している。また、味・外観を向上させるため、着果の多い極早生の摘果は8月中旬までに、早生では9月下旬～10月上旬までに仕上げ摘果を進める。

4. こだわりグループの取り組み

今年で15年目の「極早生こだわり」は、104名26.9ha、12年目になる「早生こだわり」は、39名6.6haとなっている。

グループでは7月下旬～8月上旬にかけて、第一回目の園地巡回と品質検査を計画しており、生産者一丸となって高品質生産に取り組んでいる。

5. 今年産の生産予想量(7月30日時点)

単位：t

品目	1年産	30年産	平年(過去6年)	前年比	平年比
極早生	2,845	3,146	3,387	90.4%	84.0%
早生	5,841	6,233	6,488	93.7%	90.0%
合計(普通含む)	8,701	9,404	9,908	92.5%	87.8%